追手門学院大学校友会ホームページ

https://otemon.org/ 追手門学院大学校友会 検索

■ 住所登録・変更

住所変更・改姓などをされる場合は、校友会HPの住所変更依頼フォームにご入力の上送信してください。FAXや郵便での依頼も受け付けております。

■ Facebook

校友会の情報発信や大学の最新情報のほか、大学・校友に関するメディア出演のお知らせをアップしています。

■ 卒業生投稿コーナー NEW

ご自身の近況をはじめ、勤務するお店や会社の情報、同窓会企画など、様々なことを投稿できるシステムです（事前登録制）。

■ 出欠管理システム

各支部の同窓会をはじめ、学部・ゼミ・クラブ同窓会など、各種催しの参加申し込みにご利用いただけます。

■ 追手門学院大学 卒業アルバムサイト

2018年度（第50期 学部・第45期 大学院）卒業生から卒業アルバムはデジタル版での配布となりました。 https://album.otemon.ac.jp/

追手門学院メールマガジン

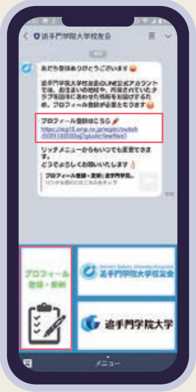
オール追手門の最新情報をお伝えしていきます。

LINE公式アカウントはじめました！ 皆さまぜひ登録してください！

STEP 1 友だちを追加

下のQRコードを使用もしくは、「友だち追加」画面でLINE IDを検索して、校友会のLINEアカウントを友だち追加してください。

@otemon



STEP 2 友だち登録完了

友だち登録が完了すると、校友会LINEからメッセージが届きます。
メッセージ内にある「プロフィール登録はこちら」のURLや、下部のボタンからプロフィールの登録が可能です。

STEP 3 プロフィール登録・更新

校友会LINEへの権限を許可して、プロフィール情報を入力・登録してください。
プロフィールは後から変更・更新することも可能です。

所属されていた部活や団体、お住まいの地域に合わせた情報が配信されますので、ぜひプロフィールをご登録ください！

▶ 卒業アルバムの販売 ※2021年度（2022年3月）卒業生対象

卒業時に卒業アルバムDVDを校友会より贈呈しましたが、冊子版を希望する声も多くいただきましたので、100冊限定で希望者へ販売することになりました。ぜひ校友会HPよりお申し込みください。

［対象冊子］ 2021年度卒版
［サ イ ズ］ A4判（約140ページ）
［販売価格］ 10,000円（税込・送料込）
［送付時期］ 入金確認後随時発送
［申込URL］ https://otemon.org/album2022/

申込みフォームはこちらから

近況求む!! 皆さまのご活躍されている様子を教えてください！

追手門学院大学の卒業生の多くが日本各地でご活躍されている中、校友会が把握できているのはその一部でしかありません。卒業後お引っ越しされた方、起業された方、その他どんなことでも構いません。ぜひ皆さまの近況を下記連絡先までお知らせください。

※ご連絡いただける際はお名前・学部学科・卒業年も併せてお教えいただけますようお願いいたします。
※お送りいただいた個人情報は法令に基づいて厳重に管理し、卒業生が関係する事業以外には使用いたしません。

追手門学院大学校友会 事務局
Tel. 06-6943-8400
E-mail. ogu.koyukai@otemon.ac.jp

編集後記

大学卒業以来、言葉を仕事に生きてきました。様々な式典やイベントで司会をしてきましたが、それでも、校友会50周年式典・祝賀会の司会者に任じられたことは、喜びもひとしおでした。親子ほど歳の離れた46期生の濱田英里さんとの共演も我が人生に花を添えてくれました。
［山口 富士夫（17期生 経経）］

次号の『校友会会報第97号』は、2023年3月頃発刊予定です

追手門学院大学 校友会会報

第96号
令和4年（2022年）9月1日
追手門学院大学 校友会
会長 藤尾 政弘

校友会の歴史に新たな1ページが刻まれた

結成50周年記念式典・祝賀会

ホームカミング・デー&学園祭 同日開催！

支部のつどい開催報告&告知

追手門学院大学 校友会［事務局］ 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 追手門学院大阪城スクエア（追手門学院大手前中・高等学校 本館6階）
TEL：06-6943-8400 FAX：06-6943-8401 URL：https://otemon.org/ E-mail：ogu.koyukai@otemon.ac.jp

校友会の歴史に新たな1ページが刻まれた

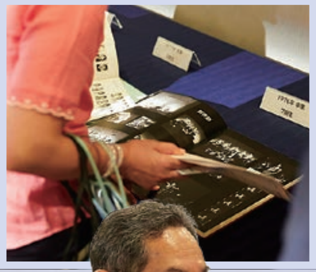
結成50周年記念式典・祝賀会

2022年5月28日（土）

KOYUKAI 50th Anniversary Memorial Ceremony & Celebration

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1年間延期された「追手門学院大学校友会結成50周年記念式典・祝賀会」をリーガロイヤルホテル（大阪）光琳の間にて挙行。北は東北・宮城から南は沖縄まで400名もの卒業生、学院関係者が集うという盛況の中、結成50周年を祝うことができました。祝賀会では卒業生の円広志さん（7期生 経営）とヤナギブソンさん（29期生 文社）によるトークショーとミニコンサートも開催。会場は大いに盛り上がりました。4年間に及んだ校友会結成50周年記念事業は、コロナ禍による実施見合わせの事業もありましたが、この式典をもってすべてが無事に終了。また一つ、校友会の歴史に新たな1ページが刻まれた記念式典・祝賀会となりました。

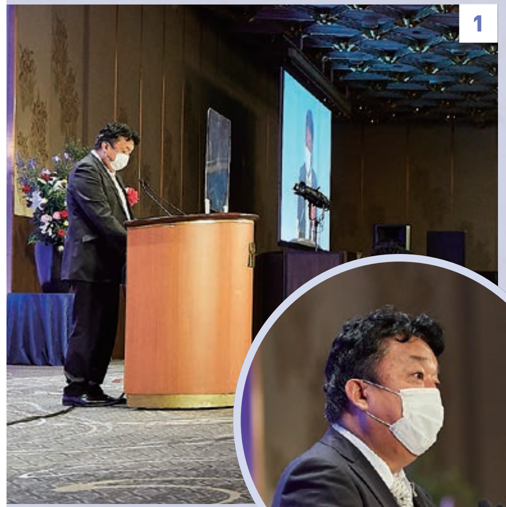
開演を前に続々と参加者が来場。400名もの関係者とともに50周年をお祝いしました。



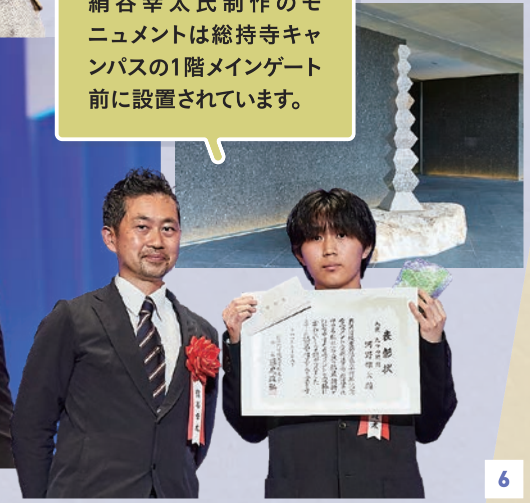
会場前には、過去の通学服や式服、卒業アルバムなど懐かしの品々が展示されました。

第1部 記念式典

記念式典では名誉会員の称号授与や、校友会の発展に尽力した歴代会長の表彰、永年役員表彰などが行われました。



絹谷幸太氏制作のモニュメントは総持寺キャンパスの1階メインゲート前に設置されています。



追手門学院大学校友会会長である藤尾政弘氏の開会の辞から第1部がスタートしました。

1 真鍋正宏氏からの祝辞
2 「歴代会長表彰」を受ける関謙二氏（左）・平野昌雄氏（中央）・林田隆行氏（右）
3 「永年役員表彰」受賞者44名の代表として壇上に上がる鶴毅氏
4 「名誉会長賞」を授与された宮本輝氏（中央）・巽樹理氏（右）・浅川智恵子氏（遠方のため欠席。ビデオメッセージで喜びの声をお送りいただきました）
5 彫刻家の絹谷幸太氏による記念講演
6 記念モニュメント命名者の代表として表彰を受ける河野雄太氏（右）

第2部 祝賀会

第一部の厳かな雰囲気からがらりと変わって、ミニライブや抽選会などで盛り上がりました

司会進行役は数々のメディアで活躍されている山口富士夫さんと濱田英里さんが務めてくれました。

フリーアナウンサー
山口 富士夫氏
（17期生 経軽）

女優
濱田 英里氏
（46期生 心心）

第2部の祝賀会は川原俊明理事長の乾杯の挨拶を皮切りに、会場は一気にお祝いムードに。

イベントの合間に設けられた歓談の時間では、来場者の方々が会話を楽しんでいました。

1 開会の辞を述べる前田順一氏
2 絹谷幸二氏による来賓挨拶
3 川原俊明氏の祝辞・乾杯

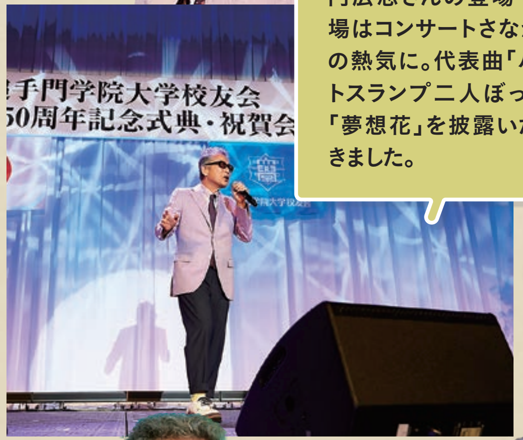
Anniversary Memorial Ceremony & Celebration

トークショー&ミニコンサート

卒業生である円広志さんとヤナギブソンさんが登場し、2人の軽快なトークで盛り上がりも最高潮に！

タレント・シンガーソングライター
円 広志氏
（7期生 経営）

タレント
ヤナギブソン氏
（29期生 文社）



円広志さんの登場で会場はコンサートさながらの熱気に。代表曲「ハートスランプ二人ぼっち」「夢想花」を披露いただきました。

大抽選会

豪華景品が当たる大抽選会が始まると、来場者の方々の期待のこもった視線が壇上の3人に。

楽しい時間はあっという間。「打ちまーしょ！」の掛け声とともに大阪締めでおひらきとなりました。

1 謝辞を述べる生川紳一郎氏
2 学院歌斉唱（黙唱）

■ 式典・祝賀会の閉会後は同ホテルにて古希のつどいの二次会も開催されました

古希の方には、この式典・祝賀会を「古希のつどい」として併せての開催となりました。閉会後には同ホテルにて「社会学科」「東洋文化学科」による古希のつどいの二次会も開催され、懐かしい思い出話に花が咲きました。

多くの方々からお申込みをいただきながら、定員に達したことにより、一部お断りをすることとなりましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

社会学科

東洋文化学科

日本科学未来館館長、IBMフェローで追大卒業生の浅川智恵子さんが令和4年度高島鞆之助賞を受賞

日本科学未来館館長で校友会名誉理事の浅川智恵子さん（12期生 文英）が、令和4年度高島鞆之助賞を受賞されました。受賞は校友会からの推薦を受けたものです。浅川さんは目の怪我により14歳で失明されますが、追大卒業後、日本IBMにて点字翻訳システム、さらにIBMホームページ・リーダーを開発。東京大学大学院博士課程修了後も工学者として目覚ましい業績を挙げ、日本人5人目となるIBM技術者最高職位のIBMフェローになられます。受賞歴も多彩で、2013年には紫綬褒章を受章。その活躍ぶりはNHKや民放番組でも紹介されています。

現在は視覚障害者の移動を支援する「AIスーツケース」開発の発起人として活動されるとともに、日本国際博覧会協会の副会長（理事）にも抜擢され、2025年大阪・関西万博の開催にも尽力されています。今後は現役学生と万博とのコラボにおける架け橋となっていただけるよう、校友会も協力していきます。

2023年、法学部設置予定 8学部体制に拡大

追手門学院大学は2023年4月、法学部（仮称・設置構想中）の新設を予定しています。法律学科に、国家・地方公務員やNPOなどをめざす「政策法務コース」と、おもに民間企業で活躍できる人材を育成する「企業法務コース」を設置。これにより追大は人文・社会科学系分野を網羅した8学部体制となります。

校友会・追手門学院大学 NEWS&TOPICS

Otemon Gakuin University & Alumni Association News

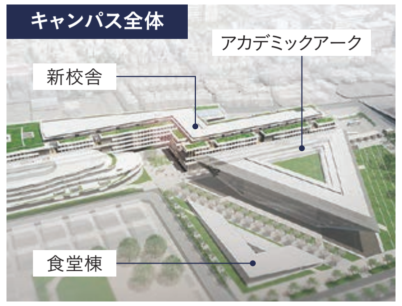
社会学部の川瀬由華さんが世界選手権で銀メダル

2022年6月にブダペストで開催された第19回世界水泳選手権において、社会学部3年の川瀬由華さん（井村ASクラブ所属）がアーティスティックスイミング フリーコンビネーションで銀メダルを獲得。2023年に福岡市で行われる同選手権での活躍も期待されます。

2025年、総持寺キャンパスにII期棟を開設予定 総持寺キャンパスのメインキャンパス化に前進

総持寺キャンパスは2025年4月、II期棟の開設を予定しています。計画地はアカデミックアークの東側で、規模は南北約250m・地上6階建。教室と研究室を混在させるなど、新たな学修スタイルを創出する空間をめざします。

II期棟開設を契機に、心理学部（2〜4年）と大学院心理学研究科以外の既存学部を総持寺キャンパスに集約。今後の学部増設や理系学部の開設構想と合わせて、多様な学生が集う総持寺キャンパスのメインキャンパス化を実現します。



少林寺拳法部が60周年記念関西学生大会で総合優勝

2022年6月、少林寺拳法部が第60回関西学生大会で3年ぶりとなる総合優勝を果たしました。部門と結果は、男子初段の組演武1位、女子初段の組演武2位、男子二段以上の組演武1位・4位・5位、女子二段以上の組演武2位、男女有段の組演武1位、単独段外の演武3位、単独有段の演武3位、団体演武1位、運用法男子重量級3位と、見事な成績を収めました。今年創部55周年を迎える少林寺拳法部は、過去に世界大会出場など輝かしい成績を残しています。次は関西にとどまらず、学生日本一をめざします。

「茨木フェスティバル」で追大生が今回も大活躍！ 3年ぶりの開催で校友会もブース出展や記念グッズを進呈

7月30日（土）・31日（日）の両日、3年ぶりとなる茨木市最大のイベント「第48回茨木フェスティバル」が茨木市中央公園グラウンドならびに市民会館跡地のIBALAB@広場にて開催されました。両日ともに、合同学園祭（旧将軍山祭）実行委員会の「合祭せんべい」「合祭魚釣り」、生物部の「スーパーボールすくい」、子ども交流部（旧児童研究会）の「とっとこ（ダンボール）迷路」の各ブースが会場を賑わせたほか、メインステージ出演者の誘導、ふわふわ茨木童子の運営、エコステーションの管理など、延べ300名を超える追大生が今回も活躍してくれました。

31日のメインステージでは、チアリーダー部とTKCA（Tomoko Kojima Cheer Dance Academy）の子どもたちとの演技が行われ、“WE LOVE 茨木”をメインテーマに全8曲をチアリーディングとダンスで大いに盛り上げました。このほか、特別MCを務めたヤナギブソンさん（29期生 文社）のトークで会場の熱気は最高潮に達していました。

なお、校友会では両日ともにブース出展を行い、当日会場に来られた卒業生や追大生、来場者に記念グッズを進呈しました。

地域創造学部井上ゼミが滋賀県日野町でフィールド調査 住民らへの報告会で、学生が町の活性化について提案

地域創造学部の井上ゼミでは、滋賀県日野町のまちづくりの可能性を探るプロジェクトに取り組んでいます。人口減少が続く同町では、商業の中心部「日野ギンザ商店街」もその影響を受け、商業利用から住宅利用への転用が進むと同時に、空き家の増加という課題も抱えています。調査に携わったゼミ生たちは、商店街の活性化と空地や空き家の再利用について検討。住民らへの報告会で提案を行いました。報告会では商店街の歴史的景観の保全法や、それを商店街の活性化にどう生かすかについて質問されるなど、住民の高い関心がうかがえました。参加した井上ゼミの稲生浩人さん、小谷文哉さん、西口遥翔さん、今西美悠さん（いずれも3年）は「住民や行政の方々と意見交換することは、地域の課題を学習するうえでとても有意義な経験だった」と報告会で学んだ成果を振り返りました。

▲かつては夜間でも賑わいをみせていた日野ギンザ商店街

▲商店は減ったものの、歴史的建造物などの資産も多い

卒業生も必見! 追大サブチャンネル開設!

6月30日、YouTubeに「追大サブチャンネル」が開設されました。コンセプトは「職員が身をもって追大生に追大のことをもっと知ってもらおう」。公式アカウントとは違った角度からキャンパスライフに迫ります。動画を盛り上げるのは仲西俊樹さん（広報課）、奥田祐士さん（管財課）の2人の職員。卒業生でも楽しめる内容となっているので、右記QRコードからぜひご覧いただき、チャンネル登録をお願いいたします。

こちらを CHECK!

支部だより

ALUMNI ASSOCIATION REPORT

奈良支部　3年ぶりに支部のつどいを開催 追大でつながる人間関係を実感

3年ぶりとなる奈良支部のつどいを令和4年6月25日（土）に開催。1期から41期まで幅広い世代の総勢32名が参加。真銅学長、心理学部の宮川先生、校友会役員の皆様にもご参加いただき、宮川先生には「自分と相手を幸せにする思いやりの心の持ち方とは」のお題でご講演いただきました。懇親会は久しぶりのリアルな場。一歩踏み出せば、追手門学院大学というだけで年代に関係なく、さまざまな人間関係が構築されることを改めて実感しました　［改正 大祐（30期 営営）］

愛媛支部　愛媛支部設立準備会を開催 県在住者や勤務者に呼びかけ

令和4年6月25日(土)、松山市の焼肉店「炙楽(あぶらく)」にて、愛媛支部設立準備会を開催。四国という広範囲なくくりから、徳島支部に続いて愛媛支部を立ち上げようと集まりました。和やかな雰囲気の中、学生時代の話題で親交を深めながら、引き続き愛媛在住の方に声をかけるとともに、愛媛ゆかりの方をゲストにお呼びする方針を確認。今秋には愛媛支部を立ち上げる方向です。愛媛在住、勤務の皆さま、お力添えのほどよろしくお願いします。　［磯浦 由佳（38期 営国）］

石川支部　石川支部設立総会および講演会・懇親会を開催

令和4年4月10日（日）、ホテル金沢において石川支部設立総会および講演会・懇親会を開催しました。設立総会では、支部会則案の説明・承認の後、支部設立発起人代表の河越邦夫氏（7期）を支部長に選出・承認。また、発起人である山本茂（7期）・千田繁（11期）の両氏が副支部長に、濱塚冨美子（13期）・宮川加寿枝（15期）の両氏が支部役員に指名・承認されました。令和4年度の事業計画案と予算案も承認され、河越邦夫支部長・前田順一校友会副会長の挨拶の後、設立総会は無事に終了。引き続き、支部役員の山本茂氏（7期）が『金沢の文化の源流』という演題で講演され、前田家・加賀百万石、金沢の土地に根づいた文化政策の発展について、「工芸」「能」「茶の湯」に触れながらお話しいただきました。休憩後、真銅正宏学長の挨拶、出席者の自己紹介、懇親会を経て閉幕。懇親会延長戦（？）まで行われるなど、時間の許す限り親睦を深めた中身の濃い1日でした。　［奥村 大輔（28期 経経）］

コロナ禍で自粛が続いていた支部のつどいが少しずつ動き始めており
四国では四県の新支部設立に向けて準備が進んでいます。

九州支部　総会、記念講演会、祝賀会を盛大に開催 九州支部30年の歩みを振り返る

第1回九州支部総会から30年の節目に、九州在住の校友が令和４年6月4日（土）、福岡の奥座敷篠栗町の南蔵院に参集。校友会本部から前田順一氏、生川紳一郎氏2名の副会長が、大学からは上森啓史常務理事、松井健副学長、森岡正樹校友課長のご臨席を賜り、総勢約30名で総会、記念講演会、祝賀会を盛大に開催しました。校友会からは30周年の歴史に対する賞賛の言葉をいただき、また大学からは新学部の設置や将来像についてのお話をうかがいました。記念講演では南蔵院・林 覚乗ご住職が「心ゆたかに生きる」をテーマにお話しされ、生きることの楽しさや、変遷する社会現象について自ら学び判断していくべき方向性をご教示いただきました。祝賀会では初対面の本部役員や支部の皆さんとの交流を通じて、「つながる、ひろがる、もりあがる」のモットーを体現することができました。　［岩﨑 陽一（6期 文東）］

沖縄支部　「沖縄の未来に通じる観光について」学習 最後は懇親会で締めくくり

令和4年5月14日（土）、ダイワロイネットホテル1階会議室にて沖縄支部のつどいを実施しました。校友会役員前田副会長含め4名、沖縄支部会員3名、計7名の出席でした。研修会として人見評議員が講師となり「沖縄の未来に通じる観光について」をテーマに、沖縄本島北部でのJTBの取り組み事例、ハワイと比べて観光客の滞在日数および消費単価の低さなどの課題を取り上げていただきました。その後、「あんまー家」にて懇親会を開催しました。　［神崎義光（11期 経経）］

追手門学院大学
事務局（校友課）
☎ 06-6943-8400
FAX 06-6943-8401
✉ koyuka@otemon.ac.jp

各支部の総会・つどいの詳細につきましては、校友会HPをご覧ください。
https://otemon.org/

＼ 校友会員は誰でもどこでも参加OK! ／

これから開催する校友会主催イベント

※コロナウイルス感染拡大状況によって変更になる可能性がございます。イベント詳細については後日、校友会HPや校友会LINE公式アカウントでご案内いたします。

東京支部 創立30周年記念式典

日時 2022年9月17日(土) 受付時間 11:30 開会 12:00
場所 タント・タント渋谷（総会・講演会・懇親会）
会費 5,000円
内容 絹谷幸太氏による記念講演
参加者にはオリジナル記念品「自然石製のペン立て」を贈呈

兵庫支部のつどい

日時 2022年11月3日(木・祝) 受付時間13:30 開会 14:00
場所 ホテルヒューイット甲子園（総会・講演会・懇親会）
会費 6,000円(一般) 4,000円(2000年以降の卒業生)
内容 地域創造学部 田中正人教授による講演会
「もしも世界から“デザイン”が消滅したら(仮題)」

滋賀支部のつどい

日時 2022年10月15日(土) 受付時間 10:30 開会 11:00
場所 ボストンプラザ草津 びわ湖
会費 5,000円

徳島支部のつどい New

日時 2022年10月16日(日) 受付時間 10:30 開会 11:00
場所 JRホテルクレメント徳島(総会・講演会・懇親会)

和歌山支部のつどい

日時 2022年10月15日(土) 開会 17:00
場所 焼鳥と熊野おでん おかげさん 本宮店（総会・懇親会）
会費 4,000円
内容 総会の前に約3時間の熊野古道ハイキングも開催。
参加希望者は11時に熊野本宮大社に集合。

愛知支部設立総会・四国支部のつどい合同開催 New

日時 2022年11月5日(土)

高知支部設立準備会 New

日時 2022年11月26日(土) 開会 18:00

イベント告知

OIDAI 社会人×学生 就活ごちゃまぜ交流会

在学生と卒業生の交流をより促すために、学生県人会と校友会のコラボイベント「第2回学生×卒業生しゃべり場！」を10月下旬に開催します。現役の追大生とさまざまな職業経験を持つ卒業生がテーブルを囲み「ごちゃまぜ」の距離感で気軽に語り合います。学生たちの関心は自分たちの将来像。仕事内容や職業観など、卒業生の職業にまつわる話を通じて、学生たちが就活の参考にしたり、卒業後をイメージしたりすることに役立てる場にしたいと考えています。

※詳細が決まり次第、HPにてご案内いたします

ゴルフコンペ

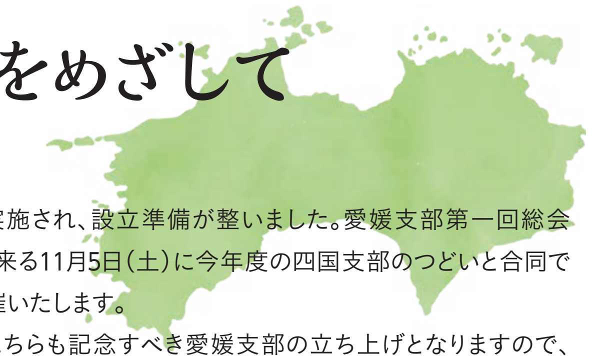
［日時］
10月8日(土) 集合 8:00

［場所］
能勢カントリークラブ

［参加費］※昼食時の飲み物代は別途個人負担
14,100円(プレイ代・昼食代・パーティー代)
3,000円(会費)

※コロナウイルス感染拡大状況によって変更になる可能性がございます

四国支部からのお知らせ



四国四県での支部設立をめざして

四国支部長　中川 純(21期生 文社)

四国支部は2010年に中・四国支部より独立し、活動を続けてまいりました。しかし、四国と申しましても非常に広範囲なエリアの支部であるため、つどいを開催しても県境を越えての参加はなかなか増えにくいという課題がありました。しかし「自らの住む地元でつどいを開催したい！」という各県校友の皆様の強い思いにより、四国支部は数年前から『四国四県での支部設立』に向かって活動しておりました。そしてこのほど、校友会本部でもこの方向性について正式にご承認いただきました。

各県支部設立の皮切りとして、徳島支部の第一回総会が10月16日(日)に開催されます。徳島在住の校友の皆様、是非ご参加いただき大いに盛り上げていただけますようお願い申し上げます。

また、愛媛支部設立に向けての準備会が去る6月25日(土)に実施され、設立準備が整いました。愛媛支部第一回総会は、来る11月5日(土)に今年度の四国支部のつどいと合同で開催いたします。

こちらも記念すべき愛媛支部の立ち上げとなりますので、多くの皆様にお集まりいただければと存じます。さらに11月26日(土)には高知支部の設立準備会が予定されており、香川支部の検討とあわせ、このまま順調に進めば2023年度中には四国四県それぞれに支部が設立され、それぞれの新たな歴史を歩み始めることとなります。

今まで以上につながり、あつまり、もりあがるために、四国支部は大きな一歩を踏み出そうとしています。四国各県にお住いの校友の皆様におかれましては、是非とも地元の支部総会(つどい)にご参加いただき、懐かしい旧友との再会の場としていただければ幸いに存じます。

校友会からのお知らせ

校友会会員による同窓会に対し助成金が交付されます！
皆さまの繋がりをより一層深めるためにぜひお役立てください。

金額	同窓会参加者1名につき2,000円まで
交付条件	●校友会会員による5名以上の同窓会(学生会員を除く) ●1回の同窓会につき総額4万円まで ●同一年度(4月1日～翌年3月31日)における申請は、同一の同窓会につき1回まで

申請方法など詳しい情報は
追手門学院大学校友会 事務局に問い合わせください。

☎ 06-6943-8400
✉ ogu.koyukai@otemon.ac.jp

イベント開催報告

大学校友会ハイキング ～大学周辺の古墳巡り～

追大キャンパス周辺には古墳が多くあり、それらを含めた史跡巡りを行うという企画が発案されていました。密になることなく皆で楽しめるコロナ禍にはもってこいのイベントということで、3月27日(日)に実施。考古学研究会OBの吉田副会長にガイドを務めていただき、約5時間かけて古墳や史跡を散策しました。普段なかなか触れることのない古墳の知識に加え、安威キャンパス敷地内に古墳が二基も存在したことや、その発見から復元までの経緯という興味深い話題も。コロナ禍における初開催のため今回は15名の参加にとどまりましたが、今後より多くの方と楽しめる企画に発展させていきたいと思います。　［小川 雅敬(34期 営営)］

校友会 × 在学生 ｜ 特別対談

ホームカミング・デー＆学園祭

SPECIAL TALK SESSION

これまでにない楽しみを提供できる1日にしたい。

ホームカミング・デー 実行委員長
松下 忠昭さん（19期 経営）

Matsusita Tadaaki

先輩たちの強力なサポートで学園祭を成功させたい。

学友会追風 合同学園祭実行委員会
松本 朗さん（経営学部 経営学科4年）

Matsumoto Akira

コロナ禍による行事自粛のため、2年間にわたってオンライン開催を余儀なくされた学園祭と同日開催のホームカミング・デーが3年ぶりに戻ってきます。今回のトピックは校友会と学園祭実行委員会との共同催事。初の試みについて、双方の責任者が語り合いました。

30歳同窓会など、若手の校友を対象にした企画を盛り込む

――2022年10月開催の学園祭およびホームカミング・デーは、どのような形式での開催となりますか。

松下● 今年度の学園祭は3年ぶりに実地開催が復活します。

松本● はい。コロナ以前と同じく模擬店の出店や各学生団体によるステージパフォーマンス、ゲストを招いてのトークショー、展示などを実施します。今回はそこにオンラインの要素も交え、空き時間などに楽しんでもらえるコンテンツを放映します。コロナ禍の2年間はオンライン開催だったので、そこで培ったノウハウを活かしたハイブリッド型の学園祭を準備しています。

松下● やはり楽しさを味わえるのはキャンパスでの開催。そうなると感染防止の対策も講じる必要がありますね。

松本● そのために今年度は屋外を十分に使える安威キャンパスで開催するとともに、飲食エリアを限定するなどして感染防止に努めます。来場者数の目標はのべ1万人です。校友会の皆さんにも、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

松下● 学園祭と同日開催のホームカミング・デー（以下HCD）も3年ぶりに現地での実施を予定しています。内容としては、校友大会はWebで対応し、支部支援のための物品販売、50周年記念式典パネルの展示などのほか、還暦同窓会、30歳同窓会も併催したいと考えています。若手の校友にできる限り多くキャンパスに帰ってもらうことが大きな課題です。

松本● それらに加えて、我々学生との共同催事を盛り込んでいくということですね。

校友会と学園祭実行委員会による初のコラボレーションを準備中

――ともに久々の実地開催ですが、来場の動機づけとなるような仕掛けは何かお考えですか。

松下● はい。多くの校友、とりわけ若手に帰ってきてもらうには相応の楽しみを提供しなければなりません。若い世代が求めるものについて、私たち世代の硬い頭で考えるのでは限界がありますから、現役学生さんの発想を聞き、それに協力する形を取りたい。そこで、共同開催の働きかけをさせてもらったというわけです。

松本● 先輩方に共同開催のお声がけをいただいたのは、実に光栄なことです。しかし、まったく前例のない取り組みなので、何をどこまでお願いできるものか…。イメージとしては我々学生では手に負えないようなゲストの手配などですが、そのあたりのラインが難しいと感じています。

松下● 私からこうしてほしいということは一切言いません。受け身の姿勢を貫きますので、まずは学生さんが楽しめる企画を

提示してほしいと思います。例えば、実現可能性を自分たちで判断せず、アイディアをいったん全部投げかけてくれる方法もあるのではないでしょうか。

松本● 正直なところあまり無茶なお願いはできないと思っていたのですが、そのようなありがたい言葉をいただきましたので、近く考えをまとめてお伝えしたいと思います。

共同催事を成功させて次年度以降も継続させたい

――イベントの共同開催を通じて、今後校友会と学生との距離が縮まることが期待されます。

松下● 校友会の学生さんに対する基本スタンスは、お節介人間の集まり。そう考えてもらっていい。後輩の皆さんから何か要望してもらえるのはとても嬉しいことなのですが、学生さんに一方的にそれを求めるのは順序が違います。皆さんが気軽に声を挙げられる関係を築くのが先だし、我々側がそれをしてこなかったのは反省点です。そもそも校友会自体が知られていません。

松本● 今回、校友会の先輩方とさまざまなやりとりをさせていただくまで、実は校友会の存在すら認識していませんでした。

松下● 校友会活動は現役学生さんがあって成り立つもの。だから皆さんにお返ししていきたいと常々感じています。共同催事では、学園祭の主役である学生さんに楽しんでもらい、そのうえでHCDに集う卒業生も一緒に楽しむ。それが理想形です。

松本● 今年度の取り組みを契機に、来年度以降も後輩が引き継いでくれるようにしたいですね。これが学園祭の新たな伝統になればという思いはあります。

松下● うまく行けば、来年度からHCDのメインコンテンツになると考えています。ともに協力して成功に導きましょう。

ホームカミング・デー Homecoming Day

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては対面開催を中止し、すべてWeb発信となる場合があります。予めご了承ください。

10/30 日

対面&Webのハイブリッド開催!

開催イベント（予定）

EVENT 1	EVENT 2	EVENT 3	EVENT 4
校友大会（オンライン開催）	学生との共同催事	各種同窓会（還暦・クラブ・30歳 等）	50周年式典パネル展示 @将軍山会館

第56回 学園祭 OIDAI FESTIVAL 2022

10/29 土 - 30 日

今年は対面開催!

- 安心・安全な学園祭!
- イベント多数企画中!

最新情報は実行委員会のインスタをCHECK!
gousai_56

※一部オンラインで行います。